

OFF ROAD SERVICE  
TANIGUCHI

# 取付説明書 スペアタイヤ移動キット (純正用)

取付前に必ず本書をお読みください。

この度は、当社製品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。  
説明書を読んで部品を確認した上、よく理解してから取り付けをして下さい。又、部品が違っていたり取付方法がわからない場合は、御遠慮なく速やかにご連絡下さい。

## ★ 販売店様へのお願い

この取付説明書は必ずお客様にお渡し下さい。

製品の取り付けについて

 <b>警告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 締め付けが不完全ですと、外れて脱落する恐れがあり大変危険です。取り付けは確実に行って下さい。</li> </ul>
---	--

 <b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 素手での作業はケガの原因となりますので、必ず皮手袋等で保護し、十分注意をして作業を行なって下さい。</li> <li>● 車体等への穴あけ加工部は、タッチアップペイント等で確実に防錆処理をして下さい。</li> </ul>
---	--

製品の取り扱いについて

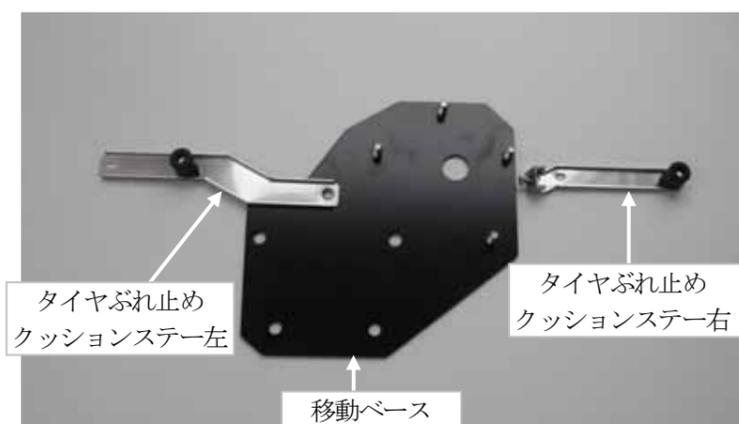
 <b>危険</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 取り付けをしていただいた後は、常に各ボルト類が緩んでないか点検を行なって下さい。緩んだまま走行しますと脱落の危険があります。緩んでいた場合は、増し締めを行なって下さい。</li> <li>● もし万一、取付部などにキレツ等が見つかればすぐ使用を中止して下さい。</li> </ul>
---	--

 <b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 海水、道路凍結防止剤等、腐蝕、変色、しみの原因となる汚れが付いた時は、早めに拭き取り、お手入れして下さい。</li> <li>● 洗車をされる時は、手などにケガをしない様にゴム手袋などをご使用下さい。</li> <li>● サビ等に関するクレームは、お受けできませんのでご了承下さい。</li> </ul>
---	--

(構成部品)

部品名	個数
・ 取付説明書	1
・ 移動ベース	1
・ クッションステー左 (当りゴム付)	1
・ クッションステー右 (当りゴム付)	1
・ 10×30 ボルト (ハイテンションボルト)	5
・ 10×25 ボルト	2
・ 10 平ワッシャ	13
・ 10Sワッシャ	11
・ 10 ナット (P=1.25)	2
・ 10 ナット (P=1.5)	4
・ 6×15 アブセットボルト	3
・ 6 平ワッシャ	1
・ 6 ナット	1
・ 1mmゴム板 (15×50mm)	1
・ 10mm当りゴム (両面テープ付)	1

(部品写真)



(取付方法)

- 1 純正スペアタイヤを外して下さい。
- 2 純正スペアタイヤブラケットを外して下さい。
- 3 純正クッションゴム2ヶ所を外して下さい。
- 4 移動ベースを10平ワッシャー・Sワッシャー・10×30ボルトで左側下3ヶ所を仮止めして下さい。写真②  
移動ベースとリアゲートが当る部分に印をつけ、一度移動ベースを外して1mmゴム板を貼って下さい。  
(取付ける前に1mmゴム板を写真①の位置につけて下さい。  
移動ベースを元にもどして仮止めして下さい。
- 5 純正スペアタイヤブラケットを付属の10平ワッシャー・Sワッシャー・10 (ピッチ1.5) ナットで4ヶ所、  
10平ワッシャー・Sワッシャー・10×30ボルトで1ヶ所、合計5ヶ所を仮止めして下さい。写真③
- 6 純正スペアタイヤブラケットの割ピンを抜いてピンを外して下さい。
- 7 左右別々に付属の10×25ボルト・ナットを使用して一番下がった状態で止めて下さい。  
(外側より10×25ボルト・平ワッシャー・純正ブラケット・平ワッシャー・Sワッシャー・ナットの順で付けて下さい。) 写真④
- 8 タイヤぶれ止めクッションステー左 (クッションゴム30mm付) を、純正クッションゴムがついていた左側の穴を利用して仮止めし、右は移動ベースの仮止めしていない穴 (リアワイパー根元の右下の穴) に10平ワッシャー・Sワッシャー・10×30ボルトで仮止めして下さい。写真⑤
- 9 タイヤぶれ止めクッションステー右は、純正スペアタイヤブラケットに穴あけして取付けします。  
1) タイヤぶれ止めクッションステー右を、3で外した純正クッションゴム取付穴を利用して6×15アブセットボルトで仮止めして下さい。  
2) クッションステー右が平行になるように仮止めし、純正ブラケットと当るようにして下さい。  
3) クッションステー右の穴の位置を純正ブラケットにマジック等で印をつけて下さい。  
4) 一度純正ブラケットを外し、印をつけた位置に6.5~7mmの穴をあけて下さい。(防錆処理をして下さい。)  
5) 穴をあけた純正ブラケットをもう一度仮止めして下さい。  
6) 6×15アブセットボルトを外から入れ、純正ブラケットとクッションステー右を6平ワッシャ・6ナットで仮止めして下さい。  
写真⑥
- 10 仮止め状態で1mmゴム板に移動ベースが当たっているか確認し、本締めして下さい。  
本締めの順番は1番、ベースと純正ブラケット 2番、7で取付したピンのかわりの10×25ボルト 3番、クッションステー左 4番、クッションステー右 5番、リアゲートに付いているベースの順がいいと思います。
- 11 スペアタイヤを最初に付いていたように裏向きに取付けして下さい。(スペアタイヤカバーハードタイプを取付ける場合は、先にスペアタイヤカバーベースを取付けた後にスペアタイヤを裏向きに付けて下さい。)

※ スペアタイヤカバーベースがバンパーに当たる場合は、スペアタイヤカバーをできるだけ上方向に持ち上げ、純正ブラケットの下2個のテーパナットを外に出して当たらないように調整してからスペアタイヤを取付けして下さい。

※ 必ずタイヤあるいはタイヤカバーベース (ハードタイプのタイヤカバー) がクッションゴムにしっかり当るように取付けして下さい。当たっていないと振動により取付け部分にひびが入るおそれがあります。



写真



写真



写真



写真

10mm当りゴムを貼り付けて下さい。(ホイールが当るように)  
ナットで軽くホイールに当るように調整して下さい。



写真



写真